

平成30年度 事業報告

I 概況

千葉市シルバー人材センターは、高齢者の就業機会の拡大を図り、健康や新たな生きがいと生涯の充実を見い出し、活力ある地域社会づくりに貢献することを目的としております。このことから、平成30年度から平成34年度を計画期間とし「会員の増強」「就業機会の拡大」「安全就業の推進」「事業推進体制の強化」の4項目を基本方針とする第3次基本計画を策定しました。

今年度は、第3次基本計画の初年度として、基本方針の4項目をそれぞれ取り組みました。

「会員の増強」では、ここ数年会員数が減少し入会の促進を最重要課題として取り組み、ハローワーク千葉や関係機関との合同説明会で入会案内を行うなど会員募集の広報活動を実施し、今年度の入会者は前年度より増加しました。

また、既存会員の退会も前年度より若干減少しました。

「就業機会の拡大」では、就業創出員による企業訪問を行い、受注開拓をしました。また発注先の仕事の内容を確認したうえ、保育事業のような受託事業になじまない発注については、派遣事業での契約に切り替えました。さらに、未就業会員には現況調査や就業相談会を実施するとともに就業紹介を行いました。他にも発注者のニーズに対応できるようスキルアップ講習会等を実施しました。

「安全就業の推進」では、安全パトロールの実施や就業現場の確認など安全対策を積極的に取り組みましたが、今年度の事故件数は、重篤事故1件を含む傷害事故が26件となり前年度より14件増加しました。一方、賠償事故は10件と前年度より9件減少しました。

「事業推進体制の強化」では、引き続き事務経費節減と組織の充実・人材の育成を行いました。

これらの事業に取り組み、平成30年度の事業実績は「会員数」2,252人（平成31年3月末日）「契約金額」は約10億7,393万円（派遣事業含む）となりましたが、今年度の目標「会員数」2,600人「契約金額」11億2千万円の目標には届きませんでした。

1 会員の増強

- (1) 会員によるポスティング活動や美浜区及び花見川区の区民まつりに参加し、それぞれ会員募集のチラシを配布するとともに、区民まつりでは、PRブースを設け会員の活動を紹介し入会の促進を図りました。
- (2) ハローワーク千葉にブースを設置し、7月から3月までに合わせて18回の入会案内を行いました。
- (3) スマートフォンなどに対応出来るホームページを整備しました。
- (4) 病気やケガ等の理由による退会を防止するため、健康に関する啓発記事を事務局だよりに掲載しました。
- (5) 高齢者への生活支援への需要に対応できるよう、車椅子講習会や調理講習会を実施しました。
- (6) 会員の自主的活動を推進するため、シルバーだよりに会員の働く様子や趣味・旅行記などを掲載するとともに会員同士の趣味サークル活動についての意見を募集しました。

2 就業機会の拡大

- (1) 就業機会創出員を2人配置し企業に555件訪問し、99件の新規契約を締結して、109人の会員に就業提供することができ、2,819万円の事業実績を上げました。
- (2) 受注拡大に向け、会員に一般家庭の仕事の情報提供をお願いしました。
- (3) 会員の自主的な普及活動として、7月にリーフレット11,765部のポスティングを行いました。またセンター名入りベスト・ジャンパー等を就業会員に貸与し、PR活動を行いました。
- (4) 会員の技能向上や人材育成のため植木講習会は4回、襖張り講習会は2回、賞状書き講習会は2回、車椅子講習会は1回、調理講習会は1回、パソコン講習会は6回開催し延べ224人が受講しました。
また、接遇研修会は一般会員2回、自転車整理員2回開催し延べ62人が受講しました。
- (5) 就業相談会を13回開催し116人の会員に就業相談を行い、63人に就業提供をしました。
- (6) 長期未就業会員445人を対象に現況調査を行いました。また個別面談を希望する28人に対し就業相談を実施し、その内11人に就業提供をしました。
- (7) 今年度は植木剪定業務のお客様60件を対象に満足度調査を実施し、その結果、出来栄えについては不満はなく、次回も依頼したいと回答した方は97%でした。
- (8) 高齢者世帯などの日常生活支援として、朝のゴミ出しなどのワンコイン

サービス事業を、2,014回実施しました。

- (9) 国の推進事業のひとつでもある、空き家等管理対策事業を千葉市と業務締結し、新たに『空き家等管理安心サポート事業』として平成30年11月より開始し、38人の就業希望会員を確保しました。
- (10) 適正就業の推進を図るため、発注先3件に対して受託事業から派遣事業への切り替えを行いました。

3 安全就業の推進

- (1) 安全就業委員会による年2回の安全パトロールの実施と事務局職員による安全パトロールを15回実施しました。
- (2) 草刈作業での「石飛ばし」等の事故が起きたことから、会員に注意喚起文書を送付しました。さらに草刈機講習会を4回開催し延べ90人が受講し、作業時の手順等や石の飛ばない草刈機についての実技指導を行いました。
- (3) 事故を起こした会員には、新たに改正した指導措置基準により指導書を発行しました。
- (4) 新規受注については、事前に担当職員や担当会員が作業場所の安全環境を確認しました。
- (5) 就業中での死亡事故や1ヶ月以上の入院となる事故が発生したことから、臨時安全就業委員会を開催し再発防止に努めるとともに、事務局だよりなどで、就業中の事故及び就業途上の交通事故等への注意喚起を促しました。
- (6) 事務局だよりや機関紙に安全就業や健康などに関する啓発記事を、年間を通して掲載しました。
- (7) 会員の健康管理と家事援助サービス事業の信頼性の向上のため、調理などに携わっている15人の会員が腸内細菌検査を受けました。

4 事業推進体制の強化

- (1) 自主運営化を促進するために職群班ごとにスキルアップ講習会を実施しました。
- (2) 職員の資質向上を図るため、全国シルバー人材センター連合会や千葉県シルバー人材センター連合会などが主催する外部研修に参加しました。
- (3) 事務経費節減を図るため、リース車両の継続使用や物品の調達等などを行いました。
- (4) 新たに請求事務員を配置し、植木剪定作業などの繁忙期の請求事務を円滑に実施しました。
- (5) 行政機関等と連携し合同説明会に参加し当センターの魅力をアピールしました。